



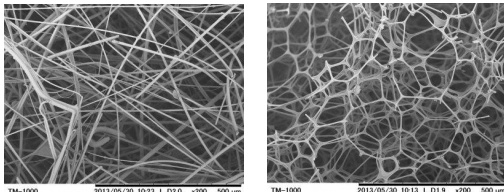
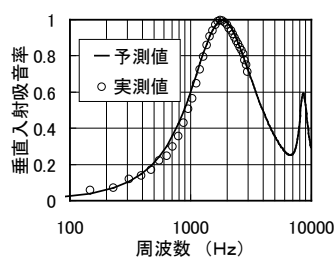
実測データに基づく合理的な多孔質吸音材料の開発

物性パラメータによる吸音率の予測技術

技術分野分類 1202：知覚情報処理

技術キーワード 音響情報処理

産業分類 E-31：輸送用機械器具製造業

内 容	概 要	車等の音環境を改善するために使われる多孔質吸音材料について、その音響性能に影響する物性パラメータを超音波計測技術や微差圧計測技術により実測します。そして、その物性パラメータを使って吸音率を予測することで、吸音材料開発の時間と試作費用を低減します。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	従来は、要求された吸音性能を満たすまで、試作と吸音率計測を繰り返して行う、試行錯誤的な開発が行われていました。当所では、実測した物性パラメータを使い、吸音率を予測することで、吸音材料開発を合理的に進める支援をしています。
	本技術の 有用性	素材(写真)や構造等の違う吸音材料の物性パラメータを比較検討することで開発の方向性や目標を定量的に確認できます。また、素材や構造を変えての吸音率予測(図)ができますので、要求性能を低コストで実現する吸音材料を開発することが期待できます。
関連情報 (図・表・写真等)		  <p>写真 材料の電子顕微鏡写真</p> <p>図 吸音率の予測値と実測値</p>
適用可能製品		実績；繊維材料や発泡材料(写真)を使った自動車内装材
技術 シース 所有者	氏名 所属・役職	木野 直樹 静岡県工業技術研究所 照明音響科 科長
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	静岡県工業技術研究所 企画調整部 企画調整班 054-278-3028/054-278-3066 sk-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

■知的財産 なし

■試作品状況



提示可

提供可

作成日 2013 年 10 月 17 日